

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(単位:円)

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額	F その他			G 補助対象外経費
						244,137,130	241,994,438	5,237,000	222,333,000	8,700,000	5,724,438	2,142,692		
1	感染予防対策事業(マスク等購入)	①感染予防に必須となるマスクが入手困難となっていることから、町が購入して町内全世帯及び福祉施設へ配布する。また、同じく入手困難となっている手指消毒用アルコールを購入して福祉施設へ配布する。 ②消耗品購入費 ③全町配布用マスク・ポリ袋 5,211,085円 福祉施設配布用マスク・アルコール 429,000円 町職員用マスク 231,000円 非常時備蓄用マスク 660,000円 公共施設設置用アルコール等 143,160円 来庁者用マスク 72,600円 ④町内の全世帯、町内の福祉施設	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4.1	R2.11.24	6,746,845	6,746,845	0	6,746,000	0	845	-	マスク122,250枚、アルコール(17L)10缶、エタノール(18L)5缶、非接触型温度計6個、ポリ袋300枚	入手困難であったマスク等を町民に配布することができ、感染拡大防止に繋がった。
2	牛乳・乳製品消費拡大事業	①食品ロスの削減及び成長期の子どもがいる家庭の食費を支援するため、中学生以下の子どもがいる家庭へ牛乳及び乳製品と引き換えできるチケットを配布する。 ②牛乳・乳製品チケット購入費、チケット郵送料、新聞折り込み料 ③牛乳・乳製品チケット 1,228,000円(4,000円×307人) チケット郵送料 53,338円 新聞折込料 3,774円 ④黒松内町総合農業推進協議会	III-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R2.5.13	R3.3.31	1,285,112	1,285,112	0	1,285,000	0	112	-	牛乳券2,000円×307人 乳製品チケット2,000円×307人	食品ロスの削減、また、中学生以下の子どもがいる家庭の食費を支援することができた。
3	プレミアム付き商品券事業(1回目)	①休業等により大幅な収入減となっている町内商店の利用促進のため、プレミアム率30%の商品券を発行し、プレミアム分は全額町負担とする。購入限度額50,000円(額面65,000円)、600世帯分発行。引換可能期間5/25～10/31。事務費は町商工会と折半。 ②商品券プレミアム分、事務費(商品券印刷代) ③プレミアム分 2,962冊×3,000円=8,886,000円 印刷代 181,500円 新聞折込料 3,774円 振込手数料 42,460円 ④黒松内町商工会	III-2. 地域経済の活性化	R2.5.13	R3.3.31	9,181,079	9,181,079	0	9,113,000	0	68,079	-	発行枚数 ・1,000円券30,000枚(50枚×600世帯) ・500円券18,000枚(30枚×600世帯) 使用枚数 ・1,000円券29,928枚 ・500円券17,940枚 回収率 99.7%	町内消費が低迷し、町内小売店等に大きな影響が出ていたが、プレミアム付き商品券を発行することで、落ち込んだ消費を喚起することができた。
4	プレミアム付き商品券事業(2回目)	①事業目的はNo.3の事業と同様。北海道の10%上乗せ支援を受け、プレミアム率を40%に増やして実施する。購入限度額は同じ50,000円(額面70,000円)とするが、世帯数を700世帯に拡大。引換可能期間11/20～2/28。事務費は町商工会と折半。 ②商品券プレミアム分、事務費(商品券印刷代) ③総事業費 20千円(プレミアム40%)×700世帯+事務費350千円=14,350千円 起債 8,800千円 道補助金 5千円(10%上乗せ分)×700世帯=3,500千円 交付対象経費=総事業費-起債-道補助金 =14,350千円-8,800千円-3,500千円=2,050千円 ④黒松内町商工会	III-2. 地域経済の活性化	R2.9.29	R3.3.31	14,181,935	14,181,935	0	1,969,000	8,700,000	3,512,935	-	発行枚数 ・1,000円券35,000枚(50枚×700世帯) ・500円券28,000枚(40枚×700世帯) 使用枚数 ・1,000円券34,954枚 ・500円券27,936枚 回収率 99.8%	町内消費が低迷し、町内小売店等に大きな影響が出ていたが、プレミアム付き商品券を発行することで、落ち込んだ消費を喚起することができた。
5	経営支援金事業	①感染症対策を実施した事業者に対し、町独自に支援金を交付する。北海道の休業要請に応じた事業者 300千円 町独自の休業要請に応じた事業者 100千円 ②休業要請に応じた際の支援金 ③300千円×8事業者=2,400千円 100千円×3事業者= 300千円 ④黒松内町商工会	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.5.13	R3.3.31	2,700,000	2,700,000	0	2,700,000	0	0	-	対象事業者11件への支援の実施	緊急事態措置で経営に大きな影響を受けた飲食店等を支援することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	補助対象事業費	B						補助対象外経費
								C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額	F その他			
6	感染拡大防止協力金事業	①換気などの3密防止のための対策、飛沫感染・接触感染防止のための手指消毒や従業員のマスク着用、発熱者の入場制限のための検温の実施等、感染拡大防止に向けた取組へ協力金を交付する。 ②感染拡大協力金、事務費 ③100千円×69事業者（宿泊・飲食・小売・サービス・医療業）＝6,900千円 50千円×17事業者（建設業）＝850千円 振込手数料51,040円 ④黒松内町商工会	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.5.13	R3.3.31	7,801,040	7,801,040	0	7,800,000	0	1,040	-	対象事業者86件への支援の実施	新型コロナの感染拡大防止に向けた取組に支援することで、感染症対策を実施することができた。
7	商品券支給事業	①町内で使用可能な商品券を町民一人あたり5千円全町民に配布。 ②商品券購入経費、事務費（郵便料等） ③5千円×2,664人（商品券使用実績）＝13,320千円 印刷代 233,200円 郵便料 377,432円 振込手数料 47,300円 新聞折込料 3,774円 ④黒松内町商工会	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.7.10	R3.3.31	13,995,086	13,995,086	0	13,981,000	0	14,086	-	発行枚数 ・500円券27,460枚（10枚×2,746人） 使用枚数 ・500円券26,665枚 回収率 97.1%	コロナ禍で落ち込んだ個人消費の喚起と、町内経済を活性化することができた。
8	子ども健康弁当事業	①小・中学校の臨時休校中に分散登校を実施した際、給食の代わりとなる栄養ある食事を児童・生徒に提供するため、昼食用の弁当を配布する。 ②食料費、資材費 ③食料費（パン・副食・牛乳） 388円×215食×5回＝417,100円 資材費（容器・フォーク等） 62円×215食×5回＝66,650円 ④小・中学生	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.5.13	R2.7.2	185,600	185,600	0	185,000	0	600	-	町内の小中学生への弁当の配布 215食×5回	臨時休校中であっても、給食の代わりとなるバランスが取れ、栄養のある食事を提供することができた。
9	経営支援金事業（ブナの里振興公社1回目）	①3つの交流施設（道の駅、宿泊施設、温泉）の指定管理者であり、町の観光産業の中核を担っている㈱ブナの里振興公社が、観光客の激減により経営難に陥っているため、支援金を交付する。 ②経営支援金 ③4・5月の減収見込（前年比）約21,000千円のうち、1/3の7,000千円を交付 ④㈱ブナの里振興公社	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.7.7	R3.3.31	7,000,000	7,000,000	0	7,000,000	0	0	-	減収見込みに対する支援	緊急事態措置で経営に大きな影響を受けた㈱ブナの里振興公社を支援することができた。
10	オンライン診療システム導入事業	①診療所への外来受診による感染拡大を防ぐため、ビデオ通話による診察が可能なシステムを導入する。 ②オンライン診療システム導入費用 ③導入支援費 330千円 ④黒松内町国保くろまつない ブナの森診療所	I-3. 医療提供体制の強化	R2.7.10	R2.10.27	330,000	330,000	0	330,000	0	0	-	オンライン診療システム 一式	遠隔での診察が可能なシステムを導入することで、感染拡大を防止することができた。
11	簡易陰圧装置購入事業	①診療所での院内感染を防ぐため、陰圧室を作るための簡易陰圧装置を設置する。 ②簡易陰圧装置購入費、設置費 ③簡易陰圧装置 1,870千円 設置費 660千円 ④黒松内町国保くろまつない ブナの森診療所	I-3. 医療提供体制の強化	R2.7.10	R2.8.21	2,530,000	2,530,000	0	2,530,000	0	0	-	簡易陰圧装置 一式	診療所での院内感染を防ぐことができ、感染症対策を実施することができた。
12	GIGAスクール導入事業	①町内の小中学校でGIGAスクールを導入するため、国庫補助「公立学校情報機器整備費補助金」を活用して端末を購入するが、補助対象外となる児童生徒の1/3分と、教師分について町単独事業として実施する。合わせて、補助対象外であるプリンターの購入、端末のネットワーク設定業務委託も町単独事業として実施する。 ②端末購入費、プリンター購入費、ネットワーク設定費 ③端末購入費 42,713円×17台＝726,121円 プリンター 41,580円×4台＝ 166,320円 ネットワーク設定費（全190台分） 26,070円×190台＝4,953,300円 ④黒松内小学校、白井川小学校、黒松内中学校、白井川中学校	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.7.9	R3.3.4	5,845,741	5,845,741	0	5,844,000	0	1,741	-	PC端末17台、プリンター4台、ネットワーク設定一式	町内小中学校の全児童生徒に端末を配付し、GIGAスクールを推進することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	補助対象事業費	B						補助対象外経費
								C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額	F その他			
13	ふるさと応援特産品宅配事業	①外出自粛等により収入減となっている町内商店の売上向上、町外へのPRのため、町民が6,000円相当の特産品を3,000円で購入し、町外の方へ送付する際の費用を助成。観光協会が事務局を担い、補助金として交付する。 ②特産品の購入費用、送料 ③特産品購入 2,388,842円-1,200,000円(町民負担)=1,188,842円 送料 558,144円(400件) 事務費（特産品売上2,388,842円）×10%=238,884円 ④(一社)黒松内町観光協会	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.7.28	R2.12.25	1,985,870	1,985,870	0	1,985,000	0	870	-	特産品発送400件	コロナ禍で落ち込んだ町内商店の売上向上に貢献し、町内経済を活性化することができた。また、町外への本町の特産品をPRすることができた。
14	交流施設(道の駅・温泉)改修事業	①交流施設の感染症対策改修工事を行い、換気機能を向上させる。 ・道の駅ホール網戸設置 ・温泉排煙窓修繕 ・温泉休憩室ドア取付 ②工事請負金 ③道の駅ホール網戸 23,300円×10枚×1.1=256,300円 温泉排煙窓修繕 1,891,000円 温泉休憩室ドア取付 826,000円 ④株ブナの里振興公社	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.7.9	R2.10.23	2,973,300	2,973,300	0	2,973,000	0	300	-	道の駅ホール網戸10か所設置、温泉排煙窓修繕・休憩室ドア1か所取付	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。
15	花火大会開催支援事業	①「新しい生活様式」下での文化芸術体験・町内の経済活性化のために、花火大会の開催を支援する。 ②花火打上にかかる委託料 ③1,000千円 ④黒松内町商工会	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R2.7.10	R3.3.31	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0	0	-	花火大会への支援	コロナ禍において各種イベント等の開催が自粛される中で、町民に文化芸術体験を提供することができた。
16	集会所等機能強化改修事業	①災害時に指定避難所となる集会所について、住民が避難した際の3密対策として網戸を設置して換気機能を向上させる。 ②工事請負金 ③豊幌振興会館 516千円 大成振興会館 113千円 中ノ川地区集会所 234千円 歌才地区集会所 198千円 作開福祉会館 187千円 ④ ③のとおり	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.12.18	3,190,000	1,248,993	0	1,248,000	0	993	1,941,007	豊幌振興会館10か所、大成振興会館7か所、中ノ川地区集会所15か所、歌才地区集会所6か所、作開福祉会館11か所 網戸設置	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。
17	分庁舎災害時対応機能向上事業	①これまでの計画では災害時に役場本庁舎に災害対策本部と住民の相談受付窓口(罹災証明等)を設置することとしていたが、本庁舎での3密を回避するため相談受付窓口を分庁舎で開設することとする。分庁舎での災害時窓口業務はこれまで想定しておらず、住民が利用する環境整備が整っているとは言えないため、空調設備を導入し最低限の住民利用環境を整える。また、停電時にも業務を行えるよう発電機接続盤を新たに設置する。 ②工事請負金 ③受付窓口エアコン設置 3,380千円 待合室エアコン設置 159千円 発電機接続開閉器取付 91千円 ④役場分庁舎	Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	R2.8.31	R2.11.18	3,630,000	3,630,000	0	3,630,000	0	0	-	役場分庁舎受付窓口エアコン3台設置、待合室エアコン1台設置	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。
18	老人保健施設機能強化改修事業	①介護老人保健施設における感染症対策のため、厨房と大ホール、居室と廊下等、機能の違う各室を適切に分離し、施設の適正な空間利用を確保する。 ②引戸取付工事、自閉式ドア修繕工事 ③厨房～大ホール(引戸取付) 1,732千円 居室～廊下等(自閉式ドア49箇所修繕) 6,628千円 ④介護老人保健施設 湯の里・黒松内	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9.2	R2.12.29	8,360,000	8,360,000	0	8,360,000	0	0	-	厨房・大ホール空間分離工事一式、居室・廊下空間分離工事一式	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。

No.	交付対象 事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策 との関係	事業開始 年月日	事業完了 年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	B				補助対 象外経 費			
							補助対 象事業 費	C 国庫補 助額	D 交付金充 当経費	E 起債額				F その他
19	総合町民センター網戸修繕事業	①換気対策のため、網戸を設置して換気機能を向上させる。 ②網戸修繕工事費 ③網戸フレーム・ネット取付 10箇所 216千円 ④黒松内町総合町民センター	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.11.24	418,000	216,315	0	216,000	0	315	#####	黒松内町総合町民センター網戸10か所取付	新型コロナの感染防止対策を実施することができた。
20	作開地区生涯学習館網戸設置事業	①換気対策のため、網戸(21箇所)の設置を行う。 ②網戸設置工事費 ③網戸設置 21箇所 405千円 勝手口本体取替 1箇所 117千円 取付調整費 92千円 諸経費 35千円 ④作開地区生涯学習館	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.11.24	649,000	649,000	0	649,000	0	0	-	作開地区生涯学習館網戸21か所取付	新型コロナの感染防止対策を実施することができた。
21	運動公園多目的広場散水栓設置事業	①運動公園利用者の感染症予防のため、多目的グラウンド側に手洗い用の散水栓を設置する。 ②散水栓設置工事費 ③散水栓設置 420千円 諸経費 42千円 ④運動公園多目的広場	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.10.27	462,000	462,000	0	462,000	0	0	-	運動公園散水栓1か所設置	新型コロナの感染防止対策を実施することができた。
22	温泉床暖ポンプ修繕事業	①R3年度に予定していた老朽化による修繕工事を前倒しして執行することにより、工事作業員が町内に宿泊することでキャンセルが相次いだ宿泊業への支援とする。また、コロナ終息後の観光客の呼び込みにか力を入れるため、観光客の少ない時期に工事を完了させる。 ②工事請負費 ③ポンプ本体 902千円 その他諸経費 528千円 ④楠ブナの里振興公社	IV-4. 公共投資の早期執行等	R2.7.2	R2.11.2	1,430,000	1,430,000	0	1,430,000	0	0	-	黒松内温泉床暖ポンプ修繕一式	公共投資の早期発注で、地元事業者を支援することができた。
23	老人保健施設井水ポンプ等取替事業	①R3年度に実施予定であった、介護老人保健施設の設備老朽化のための入浴施設ポンプ類の更新工事を時期を早めて実施し、コロナ禍で事業が減少した地元建設業者の受注機会を増やす。 ②井水ポンプ等取替工事費 ③工事費 3,850千円 施設負担(指定管理者:黒松内つくし園) 963千円 ④介護老人保健施設 湯の里・黒松内	IV-4. 公共投資の早期執行等	R2.5.21	R2.7.29	3,850,000	3,850,000	0	2,887,000	0	963,000	-	介護老人保健施設井水ポンプ等更新一式	公共投資の早期発注で、地元事業者を支援することができた。
24	黒松内小学校手洗い場増設事業	①小学校における児童の感染予防対策のため、手洗い場(蛇口2か所)を増設する。 ②手洗い場設置工事費 ③手洗い台設置 2口 723千円 配管工事 242千円 排水工事 121千円 一部仕上げ撤去・復旧 89千円 諸経費 24千円 ④黒松内小学校	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.12.9	1,199,000	1,199,000	0	1,199,000	0	0	-	黒松内小学校手洗い場(蛇口2か所)設置	新型コロナの感染防止対策を実施することができた。
25	児童館エアコン設置事業	①感染症対策として換気を行った際の熱中症対策のため、児童館にエアコンを2台設置する。 ②エアコン設置工事 ③エアコン本体 284,000円×2台=568,000円 室外機架台(屋根付) 43,400円×2台=86,800円 室内外機取付 28,950円×2台=57,900円 配管工事 43,400円 電源配線工事 37,200円 諸経費 229,400円 ④児童館	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.11.12	1,023,000	1,023,000	0	1,023,000	0	0	-	児童館エアコン2台設置	新型コロナの感染防止対策を実施することができた。

No.	交付対象 事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策 との関係	事業開始 年月日	事業完了 年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	B				補助対 象外経 費			
							補助対 象事業 費	C 国庫補 助額	D 交付金充 当経費	E 起債額				F その他
26	マイクロバス 購入事業	①3密対策で少人数での運行となる町マイクロバスを購入して台数を増やし、町民の外出機会・文化スポーツ活動への参加機会を確保する。 ②マイクロバス購入費 ③車両本体 7,999千円 特別仕様 1,040千円 付属品 363千円 追加架装 108千円 付帯工事 728千円 諸費用 125千円 ④車種：三菱ふそう ローザ	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9.7	R3.1.13	10,362,660	10,362,660	0	10,362,000	0	660	-	マイクロバス1台	3密対策による少人数での運行で、町民の外出機会・文化スポーツ活動への参加機会を確保することができた。
27	在宅避難者 等支援車両 購入事業	①3密対策による在宅避難、縁故避難を行った被災者への医師や保健師等スタッフの見回り支援のための車両を整備する。 ②車両購入費 ③車両本体 3,553千円 特別仕様 84千円 付属品 681千円 諸費用 87千円 ④車種：プリウスPHV A	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9.1	R2.11.30	4,404,759	4,404,759	0	4,404,000	0	759	-	在宅避難者等支援車両1台	災害発生時における見回り支援体制を確立することができた。
28	防災用備品 購入事業	①政府・道の指針に基づく、感染症対策下における避難所の開設・運営に必要な備品を購入する。 ②消耗品・備品購入費 ③避難所備蓄用消耗品（マスク・段ボールベッド等） 4,648千円 応急用消耗品（サージカルマスク・感染防止衣等） 426千円 避難所用備品（簡易間仕切り・サーモグラフィ等） 2,673千円 応急用備品（感染防止ジャケット） 69千円 ④各指定避難所、役場本庁舎	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.28	R3.3.11	7,621,570	7,621,570	0	7,620,000	0	1,570	-	避難所備蓄用消耗品、応急用消耗品、避難所用備品、応急用備品 一式	感染症対策下における避難所の開設・運営に必要な備品を整備することができた。
29	窓口対応用 スクリーン購 入事業	窓口24か所にスクリーンを設置し、新型コロナウイルスの飛沫感染を防止する。 ①役場本庁舎、分庁舎をはじめとする各施設の窓口に、飛沫感染防止用のスクリーンを設置する。 ②スクリーン購入費用 ③ 600mm4枚入 23,540円×2セット=47,080円 900mm4枚入 29,480円×1セット=29,480円 1,000mm4枚入 29,700円×1セット=29,700円 1,400mm4枚入 39,380円×2セット=78,760円 ④役場本庁舎、分庁舎、保健福祉センター、町民センター、ふれあいの森情報館、総合体育館、プラセンター	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.24	R2.10.20	185,020	185,020	0	185,000	0	20	-	スクリーン600mm4枚入×2セット スクリーン900mm4枚入×1セット スクリーン1,000mm4枚入×1セット スクリーン1,400mm4枚入×2セット	役場本庁舎等において、窓口での飛沫防止に大きな効果があった。
30	商工会「ポイ ントカード」導 入事業	①商工会で「ポイントカード（アプリ）事業」を導入するために補助する。加盟店・公共施設含め約40か所に非接触型端末設置。加盟店での買い物でポイントが付与されるほか、検診受診や健康イベントへの参加に応じて行政ポイントを付与し、たまったポイントは商店街での買い物に利用できる。 ②端末設置費用、本部システム導入費、カード発行費用、保守・通信料、初回ポイント付与キャンペーン費用 ③専用端末機（Android端末） 90,200円×45台=4,059,000円 通信SIM 3,850円×30台=115,500円 モバイルWiFiルータ 23,100円×5台=115,500円 本部管理システム導入・設定 1,650,000円 本部管理PC・タブレット 287,760円 システム導入・設定費用 13,200円×46台=607,200円 カード作成 247.5円×3,000枚=742,500円 カードデザイン料 181,500円 利用料（保守・通信料） 71,500円（月額）×2月=143,000円 初回ポイント付与キャンペーン費用 1,000円×600名=600,000円 ④黒松内町商工会	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.9.29	R3.3.31	7,605,260	7,605,260	0	7,581,000	0	24,260	-	ポイントカードシステム導入一式、専用端末機45台、ポイントカード3,000枚	ポイントカードをこれまでのアナログから、新たな非接触型のシステムを導入することで、地域のデジタル化を推進することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	補助対象事業費	B						補助対象外経費
								C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額	F その他			
31	福祉医療従事者慰労金交付事業	①新型コロナウイルスの影響下にあっても事業継続が求められる町内医療福祉事業所の職員に対し、慰労金として町商工会発行の商品券を交付する。 ②福祉医療従事者慰労金 ③一人あたり10,000円×466名=4,660千円 ④町内の医療・福祉従事者	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.11.17	R2.12.11	4,660,000	4,660,000	0	4,660,000	0	0	-	福祉医療従事者466名×商品券10,000円分	新型コロナと最前線向き合う福祉医療従事者を慰労することができた。
32	敬老記念品交付事業	①感染症予防対策のため中止とした敬老会の参加予定者に対して、毎年実施してきた敬老を祝う会食を取りやめる代わりに、記念品として町の特産品である菓子を贈呈して敬老祝いとする。 ②記念品購入費 ③ゆずフィナンシェ 592円×530世帯×1.08=338,860円 木村家菓子詰め合わせ 1,250円×530世帯×1.08=715,500円 ④敬老会参加予定者(75歳以上の高齢者)	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R2.9.4	R2.10.12	1,054,360	1,054,360	0	1,054,000	0	360	-	敬老記念品530世帯	外出自粛により経営に大きな影響を受けた町内事業者を支援することができた。
33	保健福祉センター機能訓練室エアコン設置事業	①妊産婦や高齢者が利用する保健福祉センター機能訓練室において、感染症対策として換気を行った際の熱中症対策のため、エアコンを設置する。 ②エアコン設置工事費 ③エアコン本体 725千円 据置架台 18千円 配管等部材 57千円 諸経費 322千円 ④黒松内町保健福祉センター	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.11.13	1,122,000	1,122,000	0	1,122,000	0	0	-	保健福祉センター機能訓練室エアコン1台	新型コロナの感染防止対策を実施することができた。
34	福祉車両(移送サービス)購入事業	①公共交通機関の利用が困難な高齢者・障がい者が医療機関を利用する移送サービスでの3密回避のため、現状は1台に複数名の乗り合いで利用しているところ1台1名の利用とし、車両が不足するため障がい者も等利用可能な車イス対応車両を購入する。 ②車両購入費 2,941千円 ③車両本体 特別仕様+付属品 573千円 諸経費 136千円 ④トヨタ ノアX 車イス仕様車 タイプ1	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.11.30	3,650,000	3,650,000	0	3,650,000	0	0	-	車イス対応車両 1台	医療機関を利用する移送サービスにおいて、3密対策の上で運行することができた。
35	診療所携帯型超音波診断装置購入事業	①診療所内での感染拡大を防止するため外来受診を抑制し、往診を強化するため、タブレット型エコーを導入する。 ②エコー購入経費 ③タブレット型エコー 1台 3,124千円 ④黒松内町国保くろまつない プナの森診療所	Ⅰ-3. 医療提供体制の強化	R2.8.31	R2.10.13	3,124,000	3,124,000	0	3,124,000	0	0	-	タブレット型エコー 1台	診療所内での感染拡大を防止するため外来受診を抑制し、往診を強化することができた。
36	診療所往診用車両購入事業	①これまで通り診療所を受診することで他者との接触機会の増加により感染リスクは高まるため、往診の回数を増加し、他者との接触機会を減らし、感染リスクを低減するために往診用車両を導入する。往診時の医師の判断により自宅から診療所へ患者を移送する可能性もあることから、障がい者等も利用可能な車イス対応車両とする。 ②車両購入経費 ③車両本体 2,832千円 特別仕様・付属品 532千円 諸経費 122千円 ④黒松内町国保くろまつない プナの森診療所 トヨタ ノアX 車イス仕様車 タイプ2	Ⅰ-3. 医療提供体制の強化	R2.8.31	R2.11.30	3,486,000	3,486,000	0	3,486,000	0	0	-	車イス対応車両 1台	診療所での接触機会を減らすための往診回数の増加などに取組むことができた。
37	農林団体感染拡大防止協力金事業	①換気などの3密防止のための対策、飛沫感染・接触感染防止のための手指消毒や従業員のマスク着用、検温の実施等、農林団体の感染拡大防止への取組に係る協力金を交付する。 ②感染拡大防止協力金 ③50千円×1事業者(森林組合)=50千円 100千円×1事業者(酪農ヘルパー利用組合)=100千円 ④ ③のとおり	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.11.9	R2.12.25	150,000	150,000	0	150,000	0	0	-	対象事業者2件への支援の実施	新型コロナの感染拡大防止に向けた取組に支援することで、感染症対策をすることができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	補助対象事業費	B						補助対象外経費
								C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額	F その他			
38	農業経営持続支援事業	①町内農家の経営を支援するため、下記の4事業の合計で上限150千円の交付を、農協への補助事業として実施する。 ・農家衛生対策事業 一律50千円 ・次期作種子確保事業 上限50千円 ・農業保険等加入促進事業 上限50千円 ・畜産農家減収補てん事業 上限50千円 ②農業経営支援金、事務費 ③150千円(交付上限)×36事業者=5,400千円 100千円×1事業者=100千円 72千円×1事業者=72千円 50千円×2事業者=100千円 事務費 11千円 ④ようてい農業協同組合蘭越支所黒松内事業所	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.10.2	R2.11.9	5,682,170	5,682,170	0	5,682,000	0	170	-	対象農業者40件への支援の実施	緊急事態措置による外出自粛などで経営に大きな影響を受けた農業者を支援することができた。
39	加工センターチーズ自動包装機購入事業	①現状、5名が手作業で行っているチーズの包装作業を、チーズ自動包装機を導入して1名での作業とすることで、3密状態を回避する。また、業務効率改善により、外出自粛の影響で受注が増加しているふろさと納税返礼品やインターネット通販に対応する。 ②自動包装機購入費 ③チーズ自動包装機 3,649千円 諸経費 410千円 ④黒松内町特産物手づくり加工センター	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R2.8.31	R3.3.10	4,059,000	4,059,000	0	4,059,000	0	0	-	チーズ自動包装機1台	機械導入により業務効率が改善され、新たな販路へ事業を拡大することができた。
40	加工センター休憩室エアコン購入事業	①機密性の高い加工センターでの換気対策及び熱中症対策のため、休憩室に換気機能付きのエアコンを設置して従業員間での感染症拡大を防止し、安全な製品づくりの環境を整える。 ②エアコン設置工事費 ③エアコン本体 204千円 室外機屋根取付 63千円 諸経費 19千円 ④黒松内町特産物手づくり加工センター	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.11.18	286,000	286,000	0	286,000	0	0	-	黒松内町特産物手づくり加工センター休憩室 エアコン1台設置	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。
41	出産祝い金特別給付事業	①特別定額給付金の対象外となる、令和2年4月28日から令和3年3月31日までに本町で生まれた子供を対象に、出産祝い金特別給付金として100千円を給付する。 ②出産祝い金特別給付金 ③100千円×10件=1,000千円 ④令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子の親	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.9.1	R3.3.26	800,000	800,000	0	800,000	0	0	-	出産祝い金特別給付金10件	特別定額給付金の対象外となる新生児がいる世帯を支援することができた。
42	黒松内中学校印刷機購入事業	①臨時休校時の中学生の学びの保障のため、休校中に配付する課題等の資料を印刷するための印刷機を購入する。 ②印刷機購入費 ③デジタル印刷機 554千円 専用架台 35千円 ④黒松内中学校	Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.8.31	R2.10.1	588,500	588,500	0	588,000	0	500	-	デジタル印刷機1台	新型コロナウイルスによる臨時休校等が続いたが、印刷機の導入により学びの保障の一助とすることができた。
43	学校給食センター配送車両購入事業	①学校給食の配送時における感染予防等衛生面(温度管理、塵芥管理)の向上のため、配送用車両(3t、架装一式(パワーゲート、コンテナ固定具、サイドドア、バックカメラ等))を購入する。 現在は食缶等をそのまま配送車両に詰め込み、各学校へ給食を運搬しているが、直接外気に触れるため、新型コロナウイルス等の細菌が飛沫などで直接食缶に付着する恐れがある。そのため、密閉式のコンテナを導入し、給食センターから配送車両へコンテナごと積み込むことで食缶が直接外気に触れず、学校到着後もコンテナごと搬入し、教室前でコンテナから食缶を取り出すことで、感染予防等衛生面での機能向上が図られる。コンテナを運搬するためには専用の大型配送車両が必須であり、今回購入するものである。 ②車両購入費 ③車両本体 5,132千円 付属品 4,992千円 諸経費 126千円 ④ダイナ2T系ワイド 3T&2.95T	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9.7	R3.3.30	10,250,000	10,250,000	0	10,250,000	0	0	-	学校給食センター配送車両1台	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果
						総事業費	補助対象事業費	B			補助対象外経費		
								C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額			
44	学校給食センター備品購入事業	①学校給食の配送時における感染予防等衛生面(温度管理、塵芥管理)の向上を図るため、小中学校2校用の配送用コンテナ(7台)及び4校用の食缶等を購入する。 現在学校にあるコンテナは食缶等を運搬するだけの台車タイプで密閉されておらず直接外気に触れるため、新型コロナウイルス等の細菌が飛沫などで直接食缶に付着する恐れがある。そのため、密閉式のコンテナを導入し、給食センターから学校に搬入されるまで直接外気に触れないようにすることで、感染予防等衛生面での機能向上が図られる。また、今回導入する密閉式コンテナに合わせて食缶等を購入するものである。 ②給食用食缶、コンテナ、食器籠等購入費 ③2学級用コンテナ 6個 2,732,388円 3学級用コンテナ 1個 608,312円 食缶類 3,762,000円 食器籠・食器箱類 1,133,000円 衛生器具 44,000円 運賃・搬入作業費 275,000円 ④学校給食センター	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10.23	R3.3.16	8,554,700	8,554,700	0	8,554,000	0	700	-	2学級用コンテナ6台、3学級用コンテナ1台、その他食缶類等一式 配送用コンテナなどで、衛生面(温度管理・じんかい管理)が向上し、新型コロナ等の感染防止対策を実施することができた。
45	ふれあいの森情報館図書貸出用車両購入事業	①感染症予防のため、町民への図書貸出し宅配サービスを実施するため、図書貸出し用車両を購入する。 ②車両購入費 ③車両本体 1,198千円 付属品 197千円 諸経費 90千円 ④ふれあいの森情報館 スズキ エブリ ハイルーフPC 4WT A/T	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.31	R2.12.11	1,485,000	1,485,000	0	1,485,000	0	0	-	ふれあいの森情報館図書貸出用車両1台 コロナ禍における外出自粛期間中も図書を宅配することで、感染症予防と町民に文化や芸術に触れる機会を提供することができた。
46	ふれあいの森情報館衛生対策用品等購入事業	①図書館における感染症対策のため、返却後の図書を殺菌する機器を購入する。また、視聴覚コーナーのヘッドフォン等の消毒(消毒のため数量を増加)と換気対策のため、必要備品を購入する。 ②図書殺菌機購入費、消耗品購入費 ③図書除菌ボックス 294,800円 ヘッドフォン 1,925円×20個=38,500円 ペーパータオル 6,120円×3個=18,360円 ハンドタオル 6,120円×3個=18,360円 ビニール手袋 715円×8袋=5,720円 手指消毒用アルコール 8,640円×2個=17,280円 漂白剤 462円×5個=2,310円 ④ふれあいの森情報館	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.8.25	R3.2.22	395,660	395,660	0	395,000	0	660	-	図書除菌ボックス1台、ヘッドフォン20台、ペーパータオル3個、ハンドタオル3個、ビニール手袋8袋、手指消毒用アルコール2個、漂白剤5個 図書の殺菌機を購入するなど、感染防止対策が向上した。
47	学校等図書管理システム購入事業	①在宅で過ごす時間を有意義なものとし外出抑制に繋げるため、積極的に図書の貸出を推進する。そのため、利用者の増加による接触機会の増加などで感染リスクが高まるため、黒松内小学校、黒松内中学校及び白井川コミュニティセンターの蔵書管理を紙媒体から新たに図書管理システムを導入してデジタル化することで、接触時間を短縮し、衛生面での向上も見込め、感染リスクの低減を図る。 ②図書管理システム購入費 ③図書管理システム(ソフトウェア) 190,670円×3箇所=572,010円 業務用PC 188,914円×3台=566,742円 レーザーキャナ 25,410円×3台=76,230円 セットアップ料 16,940円×3台=50,820円 データコンバート 63,558円×3台=190,674円 操作説明・出張料 61,524円 ④黒松内小学校、黒松内中学校、白井川コミュニティセンター	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.8.31	R2.10.29	1,518,000	1,518,000	0	1,518,000	0	0	-	図書管理システム一式、業務用PC 3台、レーザーキャナ3台 コロナ禍における外出自粛期間中も感染リスクを低減しながら、図書を通して文化や芸術に触れる機会を提供することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	補助対象事業費	B						補助対象外経費
								C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額	F その他			
48	交流施設(道の駅)改修事業	①コロナ終息後の観光客の増加を見込み、生産性を上げるために道の駅のビザ工房拡張、ミキサー(生地練り機)を導入する。また、換気による熱中症を予防するため、ビザ工房内の故障したエアコンを更新する。さらに感染症対策として以前にも増して手洗いが重要となってきたことから、バン工房内の故障している手洗い場を修繕する。 ②修繕工事費、ミキサー購入費 ③ビザ工房拡張 440千円 ミキサー購入 1,309千円 エアコン更新 2,200千円 手洗い場修繕 300千円 ④榊ブナの里振興公社	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R2.10.5	R3.1.26	4,248,200	4,248,200	0	4,248,000	0	200	-	ビザ工房拡張工事、ビザ用ミキサー1台、ビザ工房エアコン2台、手洗い場修繕1基	工場の拡張や機械導入により業務効率が改善され、事業を拡大することができた。また、新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。
49	キャンプ場多目的トイレ等改修事業	①新型コロナウイルス感染症の終息を見据え、過去の利用者から要望の多かったキャンプ場多目的トイレの改修及び手摺りの設置を行い、利用客の増加を図る。 ②トイレ改修工事費、手摺り設置工事 ③トイレ棟多目的トイレ改修 1,147千円 管理棟多目的トイレ改修 536千円 ④オートキャンプ場	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R2.10.6	R2.12.18	1,683,000	1,683,000	0	1,683,000	0	0	-	トイレ棟多目的トイレ、管理棟多目的トイレ改修工事	新型コロナ終息を見据え、利用客の増加につながる取組を実施することができた。
50	町内商店等持続化支援事業	①町内の商店等(建設業者除く)の1~12月の月ごとの売上を昨年度と比較し、10%以上の減収となった月があった場合、一事業者あたり200千円の支援金を支給する。国の持続化給付金との重複支給を避けるため、50%以上減収した月があった事業者へは支給しない。 ②経営支援金、事務費 ③200千円×35事業者=7,000千円 振込手数料30千円 ④黒松内町商工会	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.9.29	R3.3.31	4,611,880	4,611,880	0	4,611,000	0	880	-	対象事業者35件への支援の実施	外出自粛により経営に大きな影響を受けた町内事業者を支援することができた。
51	経営支援金事業(ブナの里振興公社2回目)	①3つの交流施設(道の駅、宿泊施設、温泉)の指定管理者であり、町の観光産業の中核を担っている榊ブナの里振興公社が、観光客の激減により経営難に陥っているため、支援金を交付する。 ②経営支援金 ③6~3月の減収見込(前年比)約8,500千円(R2.8月末現在の見込)のうち、約6割の5,000千円を交付 ④榊ブナの里振興公社	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.9.24	R3.3.31	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	0	0	-	減収見込みに対する支援	緊急事態措置で経営に大きな影響を受けた榊ブナの里振興公社を支援することができた。
52	交流施設券売機購入事業	①道の駅と温泉に、スタッフと客との接触機会を減らし、作業効率も上げるため券売機を導入する。 ②券売機購入費 ③道の駅券売機(タッチパネル式) 2,960千円 温泉券売機(タッチパネル式) 2,155千円 ④榊ブナの里振興公社	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10.6	R3.1.26	5,115,000	5,115,000	0	5,115,000	0	0	-	道の駅券売機1台、黒松内温泉券売機1台	券売機導入により業務効率が改善され、また、スタッフと客との接触機会が減ったため、新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。
53	ウエンベツ川護岸整備事業	①R3年度に実施予定であった、ウエンベツ川の築堤護岸工事を時期を早めて実施し、コロナ禍で事業が減少した地元建設業者の受注機会を増やす。また、防災上の観点からも、コロナ禍の中での避難所開設には感染拡大のリスクを伴うことから、氾濫の危険性のある川の護岸工事を早期に着手することにより、避難所開設のリスクを下げ、感染拡大を予防する。 ②護岸工事整備費 ③工事費 3,300千円 ④ウエンベツ川	Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	R2.10.6	R2.12.24	3,300,000	3,300,000	0	3,300,000	0	0	-	ウエンベツ川護岸整備一式	公共投資の早期発注で、地元事業者を支援することができた。
54	オサナイ川河床掘削工事事業	①R3年度に実施予定であった、オサナイ川の掘削工事を時期を早めて実施し、コロナ禍で事業が減少した地元建設業者の受注機会を増やす。また、防災上の観点からも、コロナ禍の中での避難所開設には感染拡大のリスクを伴うことから、氾濫の危険性のある河川の治水工事を早期に着手することにより、避難所開設のリスクを下げ、感染拡大を予防する。 ②河川掘削工事費 ③工事費 1,045千円 ④オサナイ川	Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	R2.7.2	R2.8.26	1,045,000	1,045,000	0	1,045,000	0	0	-	オサナイ川河床掘削工事一式	公共投資の早期発注で、地元事業者を支援することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	補助対象事業費	B						補助対象外経費
								C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額	F その他			
55	公立学校情報機器整備費補助金	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①GIGAスクールを円滑に進めていくため、ICT専門家であるGIGAスクールサポーターを配置する。 ②業務委託料 ③2,300千円(年額標準イメージ)×1/2(10~3月の6か月間)=1,150千円 ④GIGAスクールサポーター	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.10.1	R3.3.31	1,133,000	1,133,000	575,000	460,000	0	98,000	-	GIGAスクールサポーター1名	GIGAスクール事業を円滑に進めることができた。
56	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①感染症対策のため、小中学校に消毒スプレー等の衛生用品を国庫補助を活用して整備する。 ②消耗品購入費 ③キングスプレー 198円×4個=792円 キッチンハイター 462円×4個=1,848円 ハンドタオル 6,120円×15袋=91,800円 消毒スプレー 218円×10個=2,180円 自動消毒器 9,900円×4個=39,600円 ウェットシート 905円×10袋=9,050円 ポリ容器 340円×2個=680円 ペコポット 165円×1個=165円 石けん液 3,646円×9個=32,814円 クレミール 3,300円×10個=33,000円 合計211,929円のうち、国庫補助申請上限 350円×197名=68,950円 ④黒松内小学校、白井川小学校、黒松内中学校、白井川中学校	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.7.10	R2.12.24	71,978	71,978	34,000	35,000	0	2,978	-	キングスプレー4個、キッチンハイター4個、ハンドタオル15袋、消毒スプレー10個、自動消毒器 4個、ウェットシート10袋、ポリ容器2個、ペコポット個、石けん液9個、クレミール10個	衛生備品を購入することで、万全の感染防止対策をとれた。
57	防災用備品購入事業(その2)	①政府・道の指針に基づく、感染症対策下における避難所の開設・運営に必要な備品を購入する。 ②消耗品・備品購入費 ③避難所備蓄用消耗品 342千円 応急用消耗品 157千円 避難所用備品 1,890千円 応急用備品 69千円 ※内訳別紙 ④各指定避難所、役場本庁舎	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.12.10	R3.3.11	2,457,026	2,457,026	0	2,356,000	0	101,026	-	避難所備蓄用消耗品、応急用消耗品、避難所用備品、応急用備品 一式	感染症対策下における避難所の開設・運営に必要な備品を整備することができた。
58	新型コロナウイルス感染症福祉施設等対策補助金事業	①町内の医療・福祉施設11施設へ、消毒等の感染拡大防止に係る経費として一律300千円を補助する。 ②感染拡大防止補助金 ③300千円×11施設=3,300千円 ④介護老人保健施設 湯の里・黒松内 特別養護老人ホーム 緑ヶ丘ハイム 養護老人ホーム 緑ヶ丘老人ホーム 障害児入所施設 しりべし学園 障害者支援施設 しりべし学園成人寮 障害者支援施設 後志リハビリセンター 児童養護施設 つくし園 認定こども園 黒松内保育園 就労継続支援B型事業所 ひまわりB1 勤医協黒松内在宅総合センター 黒松内町国保くろまつない プナの森診療所	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.12.22	R3.2.18	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	0	0	-	対象事業者11件への支援の実施	新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取組に支援することで、感染症対策を実施することができた。
59	小中学校新型コロナウイルス感染症対策用備品等購入事業	①空気の乾燥する冬期間の感染予防のため、黒松内小学校に加湿器を設置する。また、感染予防のため児童の手洗いの回数を増やしており、温水の出ない黒松内小学校の手洗い場の利用環境を改善するため、ガス給湯器を設置する。 ②備品購入費、ガス給湯器設置工事費 ③加湿器 56,100円×5台=280,500円 ガス給湯器設置工事 2,838,000円 ④黒松内小学校	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.12.26	R3.3.30	3,118,500	3,118,500	0	3,000,000	0	118,500	-	加湿器5台、ガス給湯器1台設置	新型コロナの感染防止対策を実施することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	補助対象事業費	B						補助対象外経費
								C	D	E	F			
						国庫補助額	交付金充当経費	起債額	その他					
60	社会教育施設新型コロナウイルス感染症対策用備品購入事業	①空気の乾燥する冬期間の感染予防のため、町内の社会教育施設4施設（町民センター、図書館、プナセンター、体育館）に加湿器を設置する。また、3施設（町民センター、図書館、プナセンター）に非接触式サーモマネージャーを設置して入館者の検温を実施するほか、図書館に使用済みスリッパを除菌する保管庫を設置する。 ②備品購入費 ③加湿器 79,200円×10台=792,000円 サーモマネージャー 108,900円×3台 326,700円 スリッパ除菌デイスベンサー 168,000円 ④総合町民センター、ふれあいの森情報館、プナセンター、総合体育館	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.12.16	R3.3.10	1,286,700	1,286,700	0	1,150,000	0	136,700	-	加湿器10台、サーモマネージャー3台、スリッパ除菌デイスベンサー1台	新型コロナウイルスの感染防止対策を実施することができた。
61	GIGAスクール導入事業（その2）	①町内の小中学校でGIGAスクールを導入するため、国庫補助「公立学校情報機器整備費補助金」を活用して端末を購入するが、補助対象外となる中学校教員用のPC7台分の購入、端末のネットワーク設定業務委託を町単独事業として実施する。 ②端末購入費、ネットワーク設定費 ③端末購入費 42,713円×7台=298,991円 ネットワーク設定費 26,070円×7台=182,490円 ④黒松内中学校、白井川中学校	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R3.2.3	R3.3.30	298,991	298,991	0	250,000	0	48,991	-	端末購入・ネットワーク設定7台	町内小中学校の全児童生徒に端末を配付し、GIGAスクールを推進することができた。
62	飲食店等経営支援金事業	①会食自粛等により経営に大きな影響を受けている旅館業・飲食業に対し、町独自に1件100千円の支援金を交付する。 ②経営支援金、事務費 ③100千円×10事業者=1,000千円 振込手数料 10千円 ④黒松内町商工会	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.12.2	R3.3.31	1,005,720	1,005,720	0	900,000	0	105,720	-	対象事業者10件への支援の実施	外出自粛により経営に大きな影響を受けた町内事業者を支援することができた。
63	飲食店応援チケット発行事業	①飲食店が販売するR3.12.31まで約1年間使用できるプレミアム率100%の食事券の販売を支援する。食事券は利用したい店舗の分を先払いで1,000円単位で購入できるため、外食自粛等により経営に大きな影響を受けている飲食店に対し、速やかな支援が可能となる。1世帯の購入上限は20,000円（購入者負担10,000円）で、200世帯分発行。観光協会が各店舗の食事券を集約し、販売窓口となる。 ②食事券プレミアム分、事務費 ③10千円（プレミアム分）×200世帯=2,000千円 事務費 4,000千円（発行総額）×10%=400千円 ④（一社）黒松内町観光協会	III-2. 地域経済の活性化	R2.12.25	R3.3.3	2,400,000	2,400,000	0	2,346,000	0	54,000	-	10千円（プレミアム分）×200世帯	外出自粛により経営に大きな影響を受けた町内事業者を支援することができた。
64	経営支援金事業（プナの里振興公社3回目）	①3つの交流施設（道の駅、宿泊施設、温泉）の指定管理者であり、町の観光産業の中核を担っている株式会社プナの里振興公社が、観光客の激減により経営に陥っているため、支援金を交付する。 ②経営支援金 ③R2.6月～R3.3月の減収見込（前年比。R3.1月末現在）約14,000千円のうち、約6割の8,000千円を交付 ④株式会社プナの里振興公社	III-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R3.3.16	R3.3.31	8,000,000	8,000,000	0	7,900,000	0	100,000	-	減収見込みに対する支援	緊急事態措置で経営に大きな影響を受けた株式会社プナの里振興公社を支援することができた。
65	飲食店及び食品小売業経営支援金事業	①会食自粛等により経営に大きな影響を受けている旅館・飲食店に1事業者あたり300千円、飲食店に食料を卸している町内の食品小売店に1事業者あたり100千円を交付する。 ②経営支援金、事務費 ③300千円×10事業者（旅館・飲食店）=3,000千円 100千円×11事業者（食品小売店）=1,100千円 振込手数料 20千円 ④黒松内町商工会	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R3.3.16	R3.3.31	4,111,000	4,111,000	0	4,100,000	0	11,000	-	対象事業者21件への支援の実施	外出自粛により経営に大きな影響を受けた町内事業者を支援することができた。

No.	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	A						事業成果	効果	
						総事業費	B							補助対象外経費
							補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付金充当経費	E 起債額	F その他			
66	子ども・子育て支援交付金	(子ども・子育て支援交付金) ①町内の小学校が臨時休校したことにより、放課後児童クラブを平日の午前中から開所したため、要した人件費について国庫補助を活用する。 ②支援員に対する報酬 ③時給1,054円×4.5時間(8:30~13:00)×21日間=99,603円 時給1,054円×2時間(8:30~9:30、12:00~13:00)×21日間=44,268円 合計143,871円のうち、国庫補助対象上限103千円。1/3国、1/3道が負担。残り1/3の町負担に本交付金を充当。 ④放課後児童クラブ支援員	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.4.20	R2.6.15	144,000	144,000	68,000	35,000	0	41,000	-	支援員報酬 時給1,054円×4.5時間×21日間 時給1,054円×2時間×21日間	新型コロナによる臨時休校に伴う放課後児童クラブの人件費増額分に国庫補助事業を活用することで、町の負担を軽減することができた。
67	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①町内の小・中学校4校に、感染症対策としてマスク・加湿器等の消耗品・備品、学習保障の支援として教員用PC(遠隔授業用)・WEBカメラ等の備品を国庫補助を活用して整備する。 ②消耗品購入費、備品購入費 ③事業費総額(4校合計) 8,000千円 消耗品費 3,252千円 (うち感染症対策 3,168千円) (うち学習保障支援 84千円) 備品購入費 4,748千円 (うち感染症対策 3,244千円) (うち学習保障支援 1,504千円) 1校あたり国庫補助上限1,000千円(事業費2,000千円×補助率1/2)×4校=4,000千円 ④黒松内小学校、白井川小学校、黒松内中学校、白井川中学校	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4.1	R3.3.10	6,228,372	6,228,372	3,114,000	3,090,000	0	24,372	-	小・中学校4校 消耗品費・備品購入費	新型コロナの感染防止対策を実施することができた。
68	無線システム普及支援事業費等補助金	(高度無線環境整備推進事業) ①町内の光ファイバ未整備における持続可能な地域づくりを推進するための無線局を設置するため、必要となる伝送用専用線設備を国庫補助を活用して整備し、町内外の情報格差の解消、条件不利地域における暮らしやすさ向上を見込む。 ②光ケーブル増設工事費 ③光ケーブル増設工事費 8,580千円 ④黒松内町字東栄地区	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R3.3.16	R4.3.31	2,860,000	2,860,000	1,430,000	1,144,000	0	286,000	-	光ケーブル増設工事 一式	町内未整備地域への整備により、デジタルデバイドを解消することができた。
69	学校臨時休業対策費補助金	(学校給食費返還等事業) ①町内の小・中学校が臨時休校したことにより学校給食が中止となり、廃棄しなければならなかった食材の食材費(児童・生徒のみ)を国庫補助を活用して補填する。 ②食材費 ③食材費 児童・生徒分(2日間・487食分) 21,496円 ④黒松内町教育委員会	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R3.1.28	R3.3.29	21,496	21,496	16,000	5,000	0	496	-	2日間・487食分	新型コロナによる臨時休校で発生した廃棄食材費に国庫補助事業を活用することで、保護者の負担を軽減することができた。